

# 日本のオリンピック関連切手ほか 使用済み切手のコレクション

片山 晴史

今回、皆さんに何を見ていただくかと考えて、手持ちの2020東京オリンピック・パラリンピック関係の切手を1フレーム作品を想定して16リーフにまとめて見ました。開催記念切手だけでも75種もあり、例によって穴が目立ちますが、穴埋め協力を期待しての発表ですので、ご協力よろしくお祈いします。

それから少し前になりますが、20世紀シリーズ全17集（1999～2000）が使用済みで整理後に消印や連刷のブラッシュアップが進んでいますので、合わせてご紹介しします。最後にアルバム作りの練習のために作成している玄関展示用1リーフ作品をいくつかご紹介したいと思ひます。



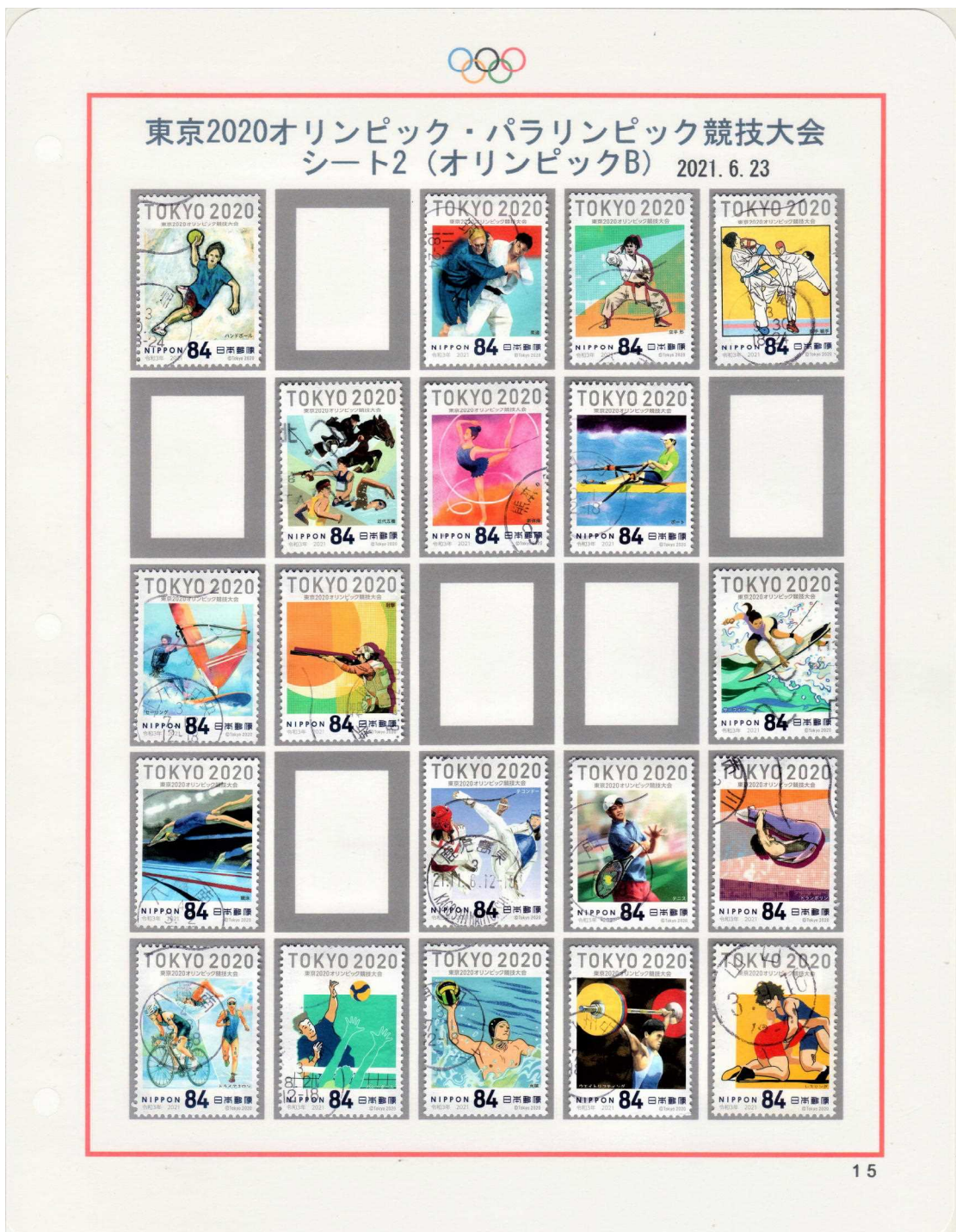
日本開催前のオリンピック関係切手 (図1)

オリンピック切手は1964東京、1972札幌、1998長野、2020東京開催関連をイメージしていましたが、20世紀シリーズや、スポーツ100年記念などでも扱われており、タイトルページには初参加のストックホルム大会と日本開催前のアムステルダム大会を描いたものでまとめました。



オリンピック東京大会にちなむ寄付金つき郵便切手 (図2)

1961～64年の期間に6回に分け、20種の菱形の5円の寄付金付5円切手が発行されました。オリンピック開催前に使用された使用済み切手を揃えるのが非常に困難な切手です。特に当時5円のはがきへの1枚貼りは貴重品と思います。

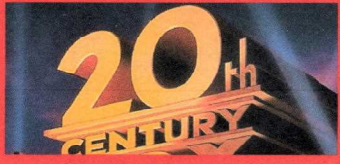


15

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (図3)

大会開催記念切手は2021年6月23日に小型シートを含め75種、額面合計6,800円という歴代最多の同時発売でした。小型シートを望むのであれば、売価10,000円の専用切手帳を購入する必要がありました。

The 20th Century Series



20世紀シリーズ

20世紀を締めくくる全17集の壮大なシリーズ。毎月 23日(ふみの日)に発行され、1901年から 1998年までのテーマ項目は広く公募された中から決定されている。各集80円切手8種と50円切手2種を組合わせた構成のシートとして発行された。

第1集 1999.8.23

1901(明治34)~1909(明治42)まで



- ①「みだれ髪」与謝野晶子  
初版本の表紙
- ②常設映画館「電気館」開業  
外観と10周年記念チラシ
- ③チンチン電車  
東京・銀座を走る電車
- ④川上音二郎・貞奴  
肖像と妻貞奴の錦絵「道成寺」
- ⑤⑥日露戦争  
野戦病院での負傷者救護を  
描く錦絵
- ⑦「吾輩は猫である」夏目漱石  
初版本の表紙
- ⑧「坊ちゃん」夏目漱石  
収録する短編集「鶉籠」の表紙
- ⑨ハイカラ  
当時流行した高い襟のシャツ
- ⑩両国国技館落成  
外観と両横綱常陸山と梅ヶ谷を  
描いた錦絵



夏目漱石



20世紀シリーズ 第1集 (図4)

シリーズのエンブレムを作成しましたが、20世紀スタジオのロゴ画面をパクっています。全リーフのデザインを切手と解説コラムと関連画像1点で構成することにして全体の統一感を出したつもりです。

The 20th Century Series



### 20世紀シリーズ

20世紀を締めくくる全17集の壮大なシリーズ。原則的に(ふみの日)に発行され、1901年から1998年までのテーマ項目は広く公募された中から決定されている。各集80円切手8種と50円切手2種を組合わせた構成の複合シートとして発行された。

第13集 2000.8.23

1964(昭和39)～1971(昭和46)まで



ウルトラマンのライバルである「バルタン星人」は、大きなハサミ状の手を持つ異星人である。ウルトラマンとの格闘シーンは、幅広い層から人気を博した。

- ①「新三種の神器」  
カラーテレビ、カー(車)、クーラー(エアコン)の3つをそう呼んだ
- ②GS(グループサウンズ)ブーム  
当時のエレキギター
- ③ノーベル文学賞受賞  
1968年受賞の川端康成。後ろは平成に受賞した大江健三郎の肖像
- ④映画「男はつらいよ」シリーズ  
第1作の一場面。主役の車寅次郎を瀧美津が演じた。全48作のシリーズ
- ⑤⑥テレビ放送「ウルトラマン」  
左はウルトラマン、右はバルタン星人
- ⑦⑧テレビ放送「ひょっこりひょうたん島」  
NHKでの人形劇 キャラクター達と背景に「ひょっこりひょうたん島」
- ⑨「太陽の塔」  
日本万国博覧会のシンボル。岡本太郎作
- ⑩「戦争を知らない子供たち」  
北山修作詞、杉田二郎作曲のフォークソング



### 20世紀シリーズ 第13集 (図5)

このリーフの期間中にNHKテレビで放送された人形劇「ひょっこりひょうたん島」が対象になっていますが、この連刷が特別な形をしており、バック画像を作成するのに苦労しましたが、結局うまくできませんでした。今ならできます。



玄関1リーフ展の作品例です (図6)

毎月玄関に1リーフの作品を額に入れて掲示することになっています。アルバムリーフの作成時のテクニックを検討するためにやっていることで、切り抜き処理やボカシなど、この作品づくりの中で学んでいます。